

図書館だより

No.34 (H30. No.12)

2019年2月1日

◇1月の学年別貸出冊数

| 学年 | 中学1年 | 中学2年 | 中学3年 | 高校1年 | 高校2年 | 高校3年 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 貸出冊数 | 266冊 | 232冊 | 186冊 | 63冊 | 55冊 | 10冊 |

総貸出冊数 1,004 冊

◇開館スケジュール

原則毎日開館していますが、2月は入試のため休館日が多いのでご注意ください。

休館日は< 2/2~5, 10, 11, 17, 22~25 >です。

また、1日(金)と21日(木)は入試準備のため、13時で閉館します。

◇お知らせ《本屋大賞ノミネート作品を展示しています》

「本屋大賞」は、新刊を扱う書店の書店員が「一番売りたい」本に投票して決まる文学賞です。16回目を迎えるこの賞に、今年も10作品がノミネートされました。館内ではノミネートされた作品を展示中です。
大賞は10作品の中から4月に決定します。
様々なジャンルの本が選ばれていますので、どれが大賞になるのか予想しながら読み比べるのも楽しいかもしれません。ぜひ手に取って下さい。
貸出中の本は予約することも出来ます！

高校生直木賞について

全国の参加校の高校生が選ぶ「直木賞」。直近一年間の候補作の中から、投票と議論によって「今年の1作」が選ばれます。本校は第3回から参加しており、6回目の今年も図書委員が候補作を選考中です。館内入口近くの展示コーナーで特集展示を行っていますので、ぜひご覧ください。

| 第159回(H30上半期) | | 第160回(H30下半期) | |
|---------------|-------|---------------|-------|
| 🏆ファーストラヴ | 島本理生 | 🏆宝島 | 真藤順丈 |
| 破滅の王 | 上田早夕里 | 童の神 | 今村翔吾 |
| 宇喜多の落土 | 木下昌輝 | 信長の原理 | 垣根涼介 |
| じっと手を見る | 窪美澄 | ベルリンは晴れているか | 深緑野分 |
| 傍流の記者 | 本城雅人 | 熱帯 | 森見登美彦 |
| 未来 | 湊かなえ | | |

◇新着案内

今月は新着図書が54冊入りました。教室掲示の新着案内と、館内の新着本コーナーをご確認下さい。

新着図書ピックアップ

◎『医療的ケアの必要な子どもたち』 内多勝康 (369ウ)

「一日一回は、死にたいとおもいます。」

退院後の暮らしを維持するために欠かせない処置の総称「医療的ケア」を必要とする、お母さんの声です。安心して笑顔で暮らせる社会のために医療的ケアとはどういうものなのか、切実な現場の声を元アナウンサーが伝えます。

◎『ベートーヴェン捏造』 かげはら史帆 (762カ)

楽聖ベートーヴェン没後150年の1977年に発覚した音楽史上最大のスキキャンダル、秘書シンドラーによる会話帳改竄事件の全貌に迫るノンフィクション作品。

楽曲と話題で永遠のスターであり続けるベートーヴェンは2020年、生誕250年を迎えます。

☆図書館を活用しましょう 第9回◀番外編—研究をすすめるために1：プロジェクトマネジメント▶

今年度もあと2か月、新学年が迫ってきて増々忙しくなるだろうと思います。特に中2の皆さんは、本校の特色である中3からの「探求未来学」での研究活動が本格的に始まります。中3の皆さんは2年目の研究へ、高1、高2の皆さんは**受験体制**へと突入していきます。

皆さんは授業や部活動を中心にたくさんの活動を行っています。しかし、これらはルーティンワーク、いわば与えられたもの、決められたプログラムや作業をこなしていけば、一定の結果（成果＝成績だったり知識だったり）が得られます。一方、**研究**や**受験勉強**は自分で目標や課題を設定し、何をするかスケジュールを考えて実行しなければ成果は得られません。そのプログラムも一人ひとり違ってきます。

研究論文を書くという作業や**受験勉強**は、一種の**プロジェクトマネジメント**です。コツコツと作業を積み上げ、手順を考え、長い時間をかけて結果を出します。

中3、高1と「探求未来学」で研究論文を仕上げることは、結果としての論文の出来不出来も大切ですが、研究過程でのプロジェクトマネジメントの経験こそが貴重だと思います。それは、その後2年間の**志望大学合格**という一大プロジェクトへの**計画と実行**に繋がっていくからです。さらに、**大学**での研究や卒業論文、**社会**に出てからの業務遂行を成功させる上で重要なスキルとなっていくことにもなるでしょう。

今回は、そのプロジェクトマネジメントについて紹介していくことにします。

プロジェクトマネジメント（プロジェクト管理、英語：Project Management）とは、**プロジェクト**（特定の目的・企画）を成功裏に完了させることを目指して行われる活動のことです。これにはプロジェクトを構成する**各活動の計画立案**、**日程表の作成**、および**進捗管理**が含まれます。（「Wikipedia」より）

ところで、人はたいてい、目先のことに追われてしまいがちです。**実際に計画を立て、そのスケジュールを予定通り実行していくことはなかなか難しいものです。ですから、マネジメント能力を身に付けることが重要となるのです。**

プロジェクトマネジメントでは、プロジェクトごとにそのプロセス（過程・工程：物事を進める手順）を以下のように設定していきます。

- ① **成果物**（解決した結果何ができるか）を設定する。
- ② **課題**（何を解決しなければいけないか）を洗い出す。
- ③ **タスク**（果たすべき作業）を洗い出す。
- ④ タスクの前後関係を並び替えて**スケジュール**（どんな段取りで解決するか）を組み、実行する。
- ⑤ これらを明確にすることによって、プロジェクトの規模にかかわらず**期限内に目的を達成する確率がアップ**します。スケジュールにしたがってタスクを実行した結果、できあがった**プロジェクトのアウトプットが成果物**です。つまり、**プロジェクトの目的が達成**されます。

いきなり**長期にわたる大規模なプロジェクト**に取りかかろうとすると、知識や経験のない人は**どこから手をつけたらよいか、何をしたらいいか**途方に暮れてしまいますね。でも、一見大規模に見えても**成果物ごとに、小さなプロジェクトの連なり**であると考えたらどうでしょう。大規模なプロジェクトといっても、小さなプロジェクトが前後関係で連なってできあがっています。

例えば、**探究プロジェクト**を考えてみます。（同様に「**受験プロジェクト**」にも応用してください。）

①**成果物**を「**研究論文の完成**」とすると、②には「**テーマの設定**」「**(先行) 資料の収集**」「**調査(結果)の分析**」等々、たくさんの**課題**が出てきます。それぞれの課題ごとに、様々な③**タスク**が生じてきますね。ですから、②を①'（小さなプロジェクト）として**設定し直して**③に**優先順位**をつけ、④**スケジュール**を実行し、同時に**進行管理**（マネジメント：**チェックと是正・変更**）をしていくことが**プロジェクトの目的達成**に繋がっていくことになるのです。

研究、受験対策のための様々なタスクを遂行する中で、特に**情報収集やその方法**など図書館は協力できると思います。どうぞ遠慮なく、司書までご相談ください。

2017年度「図書館だより」より大幅改訂の上、再掲